

# 大都会の杜・明治神宮

日 時:2020年1月15日(水) 天候:小雨のち晴れ 10000歩 約7Km(ゆったりコース)

集 合:JR代々木駅西口 12時30分

コース:代々木駅→明治神宮→代々木公園→NHKスタジオパーク→二二六事件慰霊碑→小田急線代々木八幡駅

参加者:奥村(L) 班長=山川 晶

吉越 平石 小野里 深瀬 小林 清水正 伊藤美 小島 市村 中村ゆ 清水靖 志村 橋本 中林 鈴木孝 吉田 鈴木美 計20名

一昨日の1月13日は成人の日。我々の年代で成人式と言えば1月15日が当たり前でしたが、今ではすでに“聖人”の域に達した20名が代々木駅に集合！ 時間もゆっぴりの午後12時30分、まずはここから明治神宮を目指すことに・・・  
生憎この日の東京は小雨模様、傘を差してのウォークスタートとなりました。北参道前を右折し宝物殿前でコース説明。そこから水溜りの森を歩き北参道に合流、平日にもかかわらず団体さんも多く見受けられる中、檜造りの大鳥居をくぐり本殿へ。ここではアジア系の観光客が盛んにスマホで撮りあっていました。明治神宮を抜けた代々木公園は、かつての陸軍代々木練兵場跡で、前回の東京五輪では選手村になっていた場所。NHKスタジオパークは無料デーのせいか、子供連れの姿が見受けられましたが、今年の大河「麒麟がくる」のPRコーナーが目立ちました。予報に反し気温が上がらない中、NHKを後に代々木公園の外周を辿り、陽も傾きかけたゴールの小田急線代々木八幡駅で解散となりました。

本日が初リーダーの奥村さん&参加された皆さんお疲れ様でした！

<フォトレポート 小島>



<明治神宮本殿前の御神木「夫婦楠」の前で全員集合。雨もあがって薄日が射してきました>



代々木駅脇のこの辺りは昔と変わらない雰囲気です。



朝から雨模様で傘を差してのスタートとなりました。



北参道へは入らず前を右折。



早朝からの雨で水溜りが目立つ。



北池に架かる橋を渡る一行。



宝物殿前で地図を手にコースの説明です。



会長に見守られて(?)本日が初リーダーの奥村さん。



引き返しもう一度橋を渡ることに。



ショートカットのぬかるんだ道。



北参道に出られてほっと一息。



皆さん何か見上げていますが……



それはこの檜造りの大鳥居。日本一の大きさを誇ります。



参道には明治神宮鎮座100年祭に因み、様々な資料が展示されていました。



翼を広げたような南神門から本殿へ入ります。



その手前に奉祝献灯の「夢鈴」が。2千円でした！



本殿には東神門と西神門もあります。我々の帰りは西神門から出ること。



雨上がりの西参道から原宿口へ向かいます。



表参道からの神宮橋。下は山手線、前方左には原宿駅。



冬枯れの代々木公園。園内の凜とした空気が冷たい！



「閱兵式の松」。ここは陸軍練兵場があった場所です。



園内で小休憩も、雨でベンチが濡れているのでスタンディング！女性陣からおやつ差し入れあり。



日差しが出て長い影が後をついて来る



公園を出ると目の前に代々木競技場があった。



その前はNHK。ここからスタジオパークに入ります。



館内に入ると、今年大河ドラマ「麒麟がくる」のPRコーナーがある。

あれ、右側には大物俳優が・・・？



スタジオセット。“放送中”は帽子を取りましょう！



山川アナと志村アナ、原稿の棒読みはダメですよ。



### <プロンプター>

※主に報道スタジオで、アナウンサーがニュースを読むシーンで使われています。テレビ画面でアナウンサーが正面を見ながら話していますが、まる暗記しているわけではなく、このプロンプターと呼ばれる機器の画面を見ながら原稿を読んでいます。

その原理はPC等から送られる原稿を、上部のハーフミラーに投影、ミラー奥のカメラがアナウンサーを映しますが、カメラは見えないので文字を読む邪魔にはなりません。

ただ、あまり画面ばかりを注視する映像は不自然になるので、時々下の原稿に目を移す仕草のベテランアナもいるそうです。



見学を終えスタジオパークを後にします。



今頃になって青空が広がってきましたが遅すぎ！



NHK放送センターの裏側に二二六事件慰霊碑があった。



そこからはゴールの代々木八幡駅に。何だか疲れた！

<今日の一言> (渋谷周辺の思い出)

今回、久々に代々木競技場の傍を通り、懐かしい建物を見ることが出来ました。私事ですが昭和39年の東京五輪では、家から近い駒沢オリンピック施設が造成中でよく見に行きましたが、代々木競技場もカメラ片手に周りをウロウロしたことを思い出しました。また今は若者たちで溢れている渋谷エリアですが、当時は一本横道に入ると飲み屋が建ち並び、ガード下には焼き鳥の煙が漂うオジサン達の街で、路上には白衣姿の傷痍軍人がアコーディオンで軍歌を弾きながら、道行く人々に恵みを乞う姿が雑踏に溶け込んでいたものでした。あれから半世紀以上、今や渋谷駅は都内有数の複雑で分かりづらい駅になっていますが、五輪開催で今後この辺りはどのように変貌するのでしょうか。

END